

全国统一要求（抜粋）

- 1. 常用単価1日4万円以上実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

前田道路・NIPPO 本社要請行動を実施



燃料価格の高騰分を業界全体で負担する仕組みを検討して下さい（9月3日東京・前田道路）



長年プラントで働いてきた専属ダンプを大切にしてください（9月10日東京・NIPPO）

大手道路会社

ダンプは最前線の営業マン 単価改善、仕事を確保せよ

全ダンプ

全国ダンプ合材委員会は、9月3日（水）前田道路、9月10日（水）NIPPOの各本社に対して懇談形式による要請行動を実施しました。「栃木、埼玉、西多摩、神奈川、静岡」に所属する職場の代表者など延べ16名が参加しました。要請の主旨は①燃料高騰対策の実施、②専属代

前田から十分な単価をもらっていないと回答している」と話し、下請への指導と改善を求めました。「南部・朝霞分会は、「4トン車は単価上がったが、大型は据え置かれていて理由？下請は前田が上げれば対応すると答えている」「配車差別が未だに続いてい」と話し、本社からの工場長への指導を求めました。

9月3日（水）に前田道路本社への要請行動を実施、「埼玉南部、西多摩、神奈川、静岡」の各職場代表者9名、前田道路側3名が出席しました。矢具野事務局長から「今後の繁忙期にダンプ不足が懸念されている中で本社から集める指示（単価引き上げ）を出さないのか？」と尋ねると、南雲部長は「基本は工場単位

川・前田横浜分会」からは下請を交えた3者の話し合いを求めました。「西多摩・前田西東京」は、配車の公平性を保つよう改善を求めました。「静岡・船橋分会」は、お客から仕事ぶりが評価されている事例を紹介し、「ダンプは最前線の営業マンと自覚して頑張っている。ところが、下請は単価を上げない。下請は

各職場からは、「栃木・塩谷分会」が「とにかく仕事が少ない。営業力が弱い。近場の他社プラントに仕事を取られている。聞く処によると注文を受けても応じられない場合は、簡単に断ってしまうと聞いている」と改善を求めました。石川合材部長は「仕事の問題は工場側の怠慢にあたるので、事実確認はしたいと思う。再度プラントで話し合いをしてほしい」と述べました。「静岡・中遠分会」は、「仕事が少ない。専属代車を大事にしてもらいたい。セット（切削・ガラ）の仕事は営業車に流れている。指摘すると治るがすぐに元に戻る。仕事が枯れる時期でも専属が放っておかれる。工場長は組合との話し合いに消極的対応している」と改善の指導を求めました。「埼玉南部・大宮分会」は「単価引き上げについて下請と話しているが、NIPPOの方が応じてくれないと言っている。良い返事をして欲しい。またガラ運搬の仕事から外されている」と昨年到现在改善を求めました。

燃料高騰分の負担を 専属代車を大切にしろ

9月10日（水）にNIPPO本社への要請行動を実施、「栃木、埼玉南部、神奈川、静岡」の代表者11名、NIP